

平成28年度第2回御殿場市地域公共交通協議会議事概要

平成29年1月11日（水）午後2時～

林業会館 第1研修室

※委員16名出席（全18名）

1 開会（全体進行：御殿場市企画課長）

広域幹線の協議が含まれているため、裾野市、小山町の担当者の出席について紹介。

2 会長挨拶

会長の企画部長より、本日の会議の趣旨等について触れ挨拶

3 協議事項（進行：会長）

（1）地域間幹線系統評価基準に基づく協議について…資料1-1・1-2

資料に基づき、県の補助路線に対する評価について事務局より説明。資料1-2により市の今後の取り組み内容案を審議。

<補足説明>

木佐森氏（林委員代理）：評価対象は国・県の補助路線。評価により事業者の優劣をつけるものではない。昨今、バス路線の欠損額が大きい傾向にある。A評価が多い結果であるが、補助金をもらっている中での評価であり、理想は補助金なしでの運行である。利用者が減ると収支率も悪くなる。利用促進をお願いしたい。

杉山委員：富士急行の利用者はほぼ横ばいである。しかし、燃料費の上昇等により収支率は下がってしまっている。シルバー定期券、IC乗車券の啓発を行っていききたい。資料にも付けたが、バスの乗り方教室についても継続していきたい。

質疑なしとして案のとおり承認された。

（2）平成29年度御殿場市生活交通確保計画（案）について

…資料2-1・2-2・2-3・富士急提供資料

資料2-1に基づき、平成29年度御殿場市生活交通確保計画（案）について事務局より説明。公共交通の現状、今後の課題、国庫補助・市単独補助路線の詳細、富士急による便の変更案について審議。

<補足説明>

杉山委員：補助要望路線、便の変更について説明があったが、半年程度の乗員調査等を行った上で判断させてもらっている。平日の便は、ほぼ維持し、別便で代替できるものはお客様に周知の上で補完していきたい。燃料代等も上がっているため、補助金で維持していただければと考えている。

米山氏（富士急行随行）：国庫補助路線に係る減便を中心に、補足資料にて説明。

<質疑>

会長：富士急シティバスとの棲み分けはどうなっているのか。

杉山委員：特に明確な割り分担はないが、市内の多くは富士急行であり、シティバスとは20年ほど前に分社した。山梨県を中心にしている山梨バスもある。

会長：河口湖線のアウトレット便の黒字はこの資料の数字に含まれているのか。

米山氏（富士急行随行）：観光路線として外してあるため別になっている。補助路線外のため黒字額等の資料は持ち合わせていない。

会長：バスはバスで含めるべきなのではないかと考える。事務局で資料をいただいて検討するとともに協議会においても今後の検討とする。

その他、案のとおり承認された。

4 その他

- ・貸切バスの「運賃・料金」について、配布資料に基づき中部運輸局より説明。

- ・御殿場市高齢者等タクシー及びバス利用料金助成事業について…資料3

当事業についての制度説明及び申請受付状況（1/6 時点で 556 人の申請）、来年度以降は利用者の動向等の分析を含めて状況を報告していくことを事務局より説明。

<質疑>

平野委員：IC乗車券との併用はできるのか。

事務局：現在、併用はできないことになっている。

5 閉会（副会長）